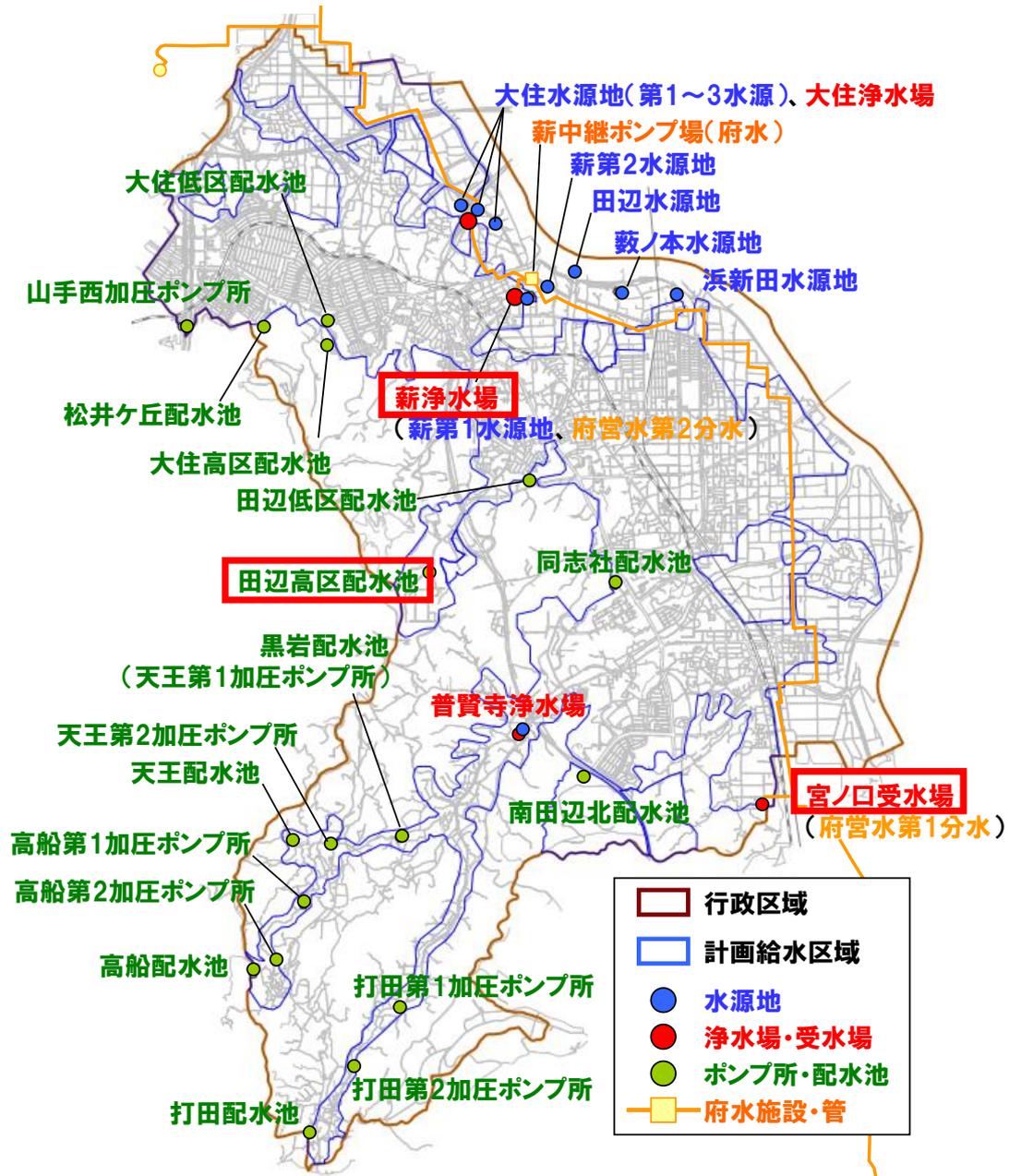


1. 水道施設

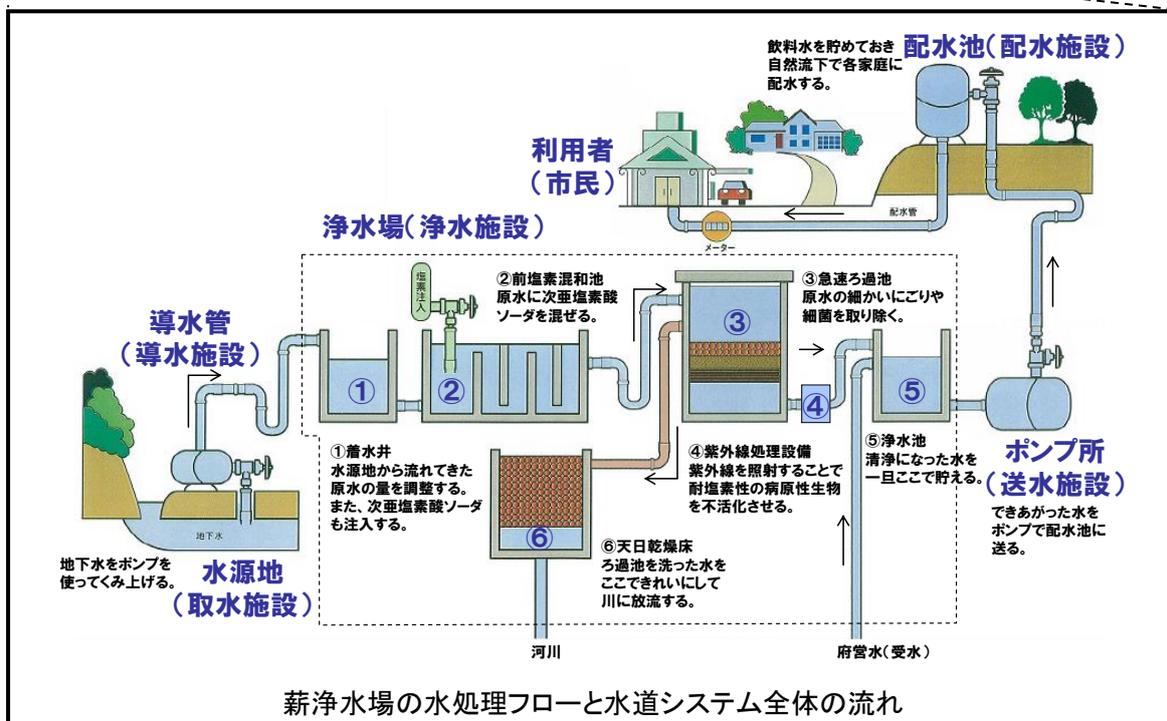


- 水源地…普賢寺を除き北東部の木津川沿いに集中しています。
- 浄水場・受水場…北東部の水源地に隣接して大住、薪浄水場があります(大住浄水場は将来廃止予定)。南部は京都府営水道を受水する宮ノ口受水場と山間部向けの普賢寺浄水場があります。
- ポンプ所・配水池…配水池は標高の高い市の西側に点在しています。南部は特に標高が高いため複数のポンプ所を経由して配水池まで送水しています。
- 京都府営水道(府水)施設・管…市の東側を京都府営水道送水管が通っており、薪浄水場と宮ノ口受水場にて受水しています。

○本市水道事業の浄水場・受水場

薪浄水場	普賢寺浄水場	宮ノ口受水場	大住浄水場(廃止予定)
			
令和6年度年間配水量 4,598千m ³ (58%)	103千m ³ (1%)	2,990千m ³ (38%)	274千m ³ (3%)

※総配水量は7,965千m³



- 本市の浄水場・受水場について、それぞれの配水量で見ると薪浄水場が全体の6割を占めており、主力施設となっています。
- 薪浄水場の竣工は昭和63年7月であり、汲み上げた地下水に塩素を注入して消毒し、急速ろ過池で鉄やマンガンをろ過した水を市の北部～中部に送水しています。
- 平成22年度(2010年度)からは、クリプトスポリジウム(耐塩素性の病原性生物)対策として紫外線処理設備を導入しています。